

# 真崎地区 村政懇談会

日 時：平成 24 年 7 月 11 日（水） 午後 7 時～9 時

場 所：真崎コミュニティセンター 会議室

参加者：村執行部（村長，副村長，教育長，理事，総務部長，総合政策部長，福祉部長，経済環境部長，建設水道部長，教育次長，議会事務局長）

事務局（課長，課長補佐，自治推進課職員 3 名） 計 16 名

自治会長（真崎区，舟石川 3 区，原子力機構荒谷台区）

一般社団法人自治会連合会（事務局長，事務局員 2 名）

参加者：真崎区… 49 名，舟石川三区… 17 名，

原子力機構荒谷台区… 1 名，その他… 40 名

計 107 名

報道関係：茨城新聞社，読売新聞社，NHK 水戸放送局，常陽新聞，東京新聞・中日新聞水戸支局

司会進行：舟石川三区自治会長

## 1. 開会

## 2. 出席者紹介（自治会長及び村執行部）

## 3. 地区自治会長あいさつ

## 4. 村長あいさつ

## 5. 行政からの説明

- ①「東日本大震災の教訓を活かしたまちづくり推進プラン」について
- ②「原子力センター構想（仮称）」について

## 6. 地区自治会からの事前質問・要望に関する回答

## 7. 「行政からの説明」及び「地区自治会からの事前質問・要望に関する回答」についての質問

### ○真崎区住民

区画整理地区内の災害時の避難道路についてと土砂災害ハザードマップについて伺います。回答書には「地域の意見を聞き，必要によっては応急的に工事で対応したい」と書かれていますが，現地を見てここは非常に危険だということを感じ取って欲しいと思います。根崎班は現在 42 戸あり，アパートも増えています。その世帯が

## 真崎地区 村政懇談会

あの狭い道路を逃げなくてはなりません。3.11 の震災時、瓦が落ち、塀が倒れ、通れませんでした。区画整理が終了するのを待つのではなく、狭い道路を暫定的にでも広くできないでしょうか。

更に現在、区画整理で 120m くらい埋め立てており、残り 60m くらいが危険地帯としてハザードマップに載っています。もう少し埋め立てを進めてくれれば、土砂災害の危険を防止できると思いますので、ぜひ検討して頂きたいと思います。

### ○建設水道部長

現地は確認しております。暫定的にということですが、再度現地を確認し、内部協議をいたしまして、必要があれば対応したいと思います。埋め立てについてですが、現在、土がなかなか確保できない状況でありますので、なるべく早く、公共事業の中で出た土を利用して埋め立てていきたいと思います。

### ○真崎区住民

村松小学校通学路に関して要望をさせていただきます。旧道（合同庁舎南交差点）付近では、立派な道路ができたためスピードを出す車が多くなっています。更に新しい橋ができれば、車も増えると思われれます。通学路は子どもの生活道路でもあります。運転者のモラルの問題とするだけでなく、ランプ・ガードレールの設置など、車にスピードを出させない対策や、事故が起きた時に子どもを守れるような道路づくりをお願いしたいと思います。

### ○建設水道部長

勝木田線が橋梁化されれば、交通量の増加は当然見込まれます。ランプ・ガードレールの設置などについては、地域の方・教育委員会・警察等と協議していきたいと思っています。

## 8. 自由質問

### ○舟石川 3 区住民

村長が枝野大臣に問題提起したということですが、やり取りの中で大臣はどんな反応をしたのでしょうか。また、この要望書についての回答は要求したのですか。

### ○村長

いつまでに回答してほしいとは要求しておりません。大臣は東海第 2 原発について、また、脱原発について、理解しているという姿勢でございました。基本的には大臣は同じような考えを持っているんですね。最後に、今後もどんどん発言してくれというコメントをいただきました。

# 真崎地区 村政懇談会

## ○白方区住民

東海第2原発について、村の中で対話になっていないのではないのでしょうか。先日行われた議会の委員会は継続審議になっています。十分な話し合いが全然なされておらず、村民の意見も十分に聞いていない中で、一部の議員による再稼働反対をつぶす動きがあるのであれば、極めて大きな問題であると思います。それぞれが自分の考えに凝り固まっていて、人の話を聞こうとしていないのではないのでしょうか。

## ○村長

私にも責任はあると感じておりますが、東海村は原発問題について意見を表明しづらい空気があるという特殊な環境でもあると思います。村長としては原発問題について発言して、それに対するリアクション・反論をお聞きしたいという観点から話をさせていただきました。しかし、公式の場として対話する場を設けるのはまだ時期が早いのではないかと考えています。東海村長としての意見は国に対して表明しています。当然、村民の皆さんの批判には答えていきたいと思っております。

## ○舟石川3区住民

村長の原発に関するテレビ等マスコミの前での今までの発言は、村全体の意見の如く発言されています。マスコミも村全体の総意のように報道しています。個人の意見なのか、村を代表しての意見なのか明確にして発言することが、組織の長の常識と考えますがいかがでしょうか。村議会の結論もまだ出ていません。

## ○村長

基本的には今のところ個人の意見として話しています。村全体の集約された意見でもなく、議会の意見でもないということは言っていますが、マスコミはそのように話してもそのように取り上げないものです。脱原発首長会議の他の首長も同じであり、そのまちを代表して言っている訳ではありません。原発事故を目の当たりにして、村上という政治家として話しています。東海村の方向性を村長として示していきたいと思っております。再稼働問題が具体的になれば、意見を聞く場は設けていかなければならないと思っております。

## ○真崎区住民

原子力災害時は難しいことを言われてもわかりません。地震なら震度1とか2でわかります。村として簡単な表現で情報提供してほしい。地元だからこそ、事業所等専門家の協力を得て、村の責任で村民に情報提供していただければいいと思っておりますがいかかでしょうか。

# 真崎地区 村政懇談会

## ○村長

福島の原発事故の際、メルトダウンを公式に認めたのは5月であり、政府は最初の段階ではレベル4と事故を小さく表現していました。レベル7と認めたのは4月下旬ごろだったと思います。われわれは政府の報道を見ては、常に対応は遅れることとなります。東海村は原子力機構や日立製作所のOBの方々が多くいらっしゃるので、非常に恵まれており、特殊なところだと思えます。その方々の力を借り、どういう状況が予想されるかについてすばやい対応をしていきたいと思えます。

## ○真崎区住民

ボランティアセンター「えがお」についてお聞きします。現在は「絆」の中で、仮の事務所ですが、とても狭く、打合せをする場所もありません。これからもずっと今のままなのでしょうか。

## ○総合政策部長

合同庁舎の跡地利用が課題となっています。跡地利用については、自治会長から地元の意見も聞いてほしいと言われております。地元の意見をお聞きしながら、今年中に計画を立てて、来年ぐらいには目途が立つくらいのスケジュールで対応します。現在のボランティアセンターは暫定措置であるをご理解いただきたいと思えます。

## ○真崎区住民

東海村には文化財がたくさんありますが、展示する場所や小中学生が勉強する施設がありません。財政的には厳しいと思えますが、早く計画を立てて実施してほしいと思えます。

## ○教育長

生涯学習センターがゼロベースになったことにより、中央公民館の改修も含めてもう一度全体的に構想を見直していく予定です。東海村は文化財がたくさんありますが、保護・展示が遅れているということも認識しています。現在、暫定的に考えていることとしましては、図書館ロビーでのイベント・展示を行い、できるだけ公開していきたいという考えを持っています。補足ですが、3.11震災の液状化現象の様子などを広く小中学生にも知ってもらうために6月から白方小を皮切りに巡回展を実施しております。

## ○真崎区住民

地区自治会の保健部会で真崎コミセン周辺の遊歩道マップをつくっています。以前

## 真崎地区 村政懇談会

にもお願いした事がありますが、阿漕ヶ浦周辺の整備をお願いしたいと思います。また、現在、阿漕ヶ浦は、どぶ池のような状態です。前は定期的にゴミの撤去や除草をしていました。今後も検討して頂きたいという要望です。

### 9. 閉会